

ようこそ、美しくも残酷なダークファンタジーの森へ

寓話のさらなる深淵に迷い込んだら抜け出せない

アカデミー賞® 2部門ノミネート

〈衣装デザイン賞／メイクアップ&ヘアスタイリング賞〉

(ダヴィッド・ディ・ドナテロ)
イタリア・アカデミー賞 5部門受賞&
(美術賞/衣装デザイン賞/メイクアップ賞/ヘアスタイリスト賞/視覚効果賞)
9部門ノミネート

イタリア映画
動員 **No.1**

※2019年公開の国内映画/BOX OFFICE MOJO

1883年に出版されたイタリアの作家カルロ・コッローディの「ピノッキオの冒険」は、100年以上にわたって世界中で読み継がれてきた児童文学で、ディズニーによるアニメーションも広く親しまれてきた。現在、ゲレルモ・デル・トロ、ロバート・ゼメキスが手掛ける新作映画も進行中だ。しかし誰もが思い浮かべるのは“嘘をつくと鼻が伸びる”有名なエピソードであり、この名著の主人公の実像を知る人は少ない。無邪気な操り人形に見せかけて、実は行く先々でトラブルを巻き起こす、“悪童”だということを。

丸太棒が変身したピノッキオの奇想天外な大冒険を『ゴモラ』の鬼才マッテオ・ガローネが原作に回帰して、斬新にビジュアライズ。旅の途上に登場する世にも奇妙な生きものたち、人生の不条理や社会風刺を盛り込んだ寓話的なストーリー展開を、圧倒的な映像美で描出した。本国イタリアで公開されるや大ヒットを記録、オスカー候補にも名を連ねた、まさに大人のためのおとぎ話と呼ぶにふさわしい、神秘的で驚きに満ちたダークファンタジーがここに完成した。



あなたはまだ知らない、本当のピノッキオを！

Story

貧しい木工職人のジベット爺さん(ロベルト・ベニーニ)が丸太から作った人形が、命を吹き込まれたようにしゃべり始めた。

ピノッキオ(フェデリコ・エラビ)と名付けられたやんちゃな人形は、ジベットのもとを飛び出して、森の奥深くへと誘われる。

道中、ターコイズ・ブルーの髪を持つ心優しい妖精の言いつけにも、おしゃべりコオロギの忠告にも全く耳を貸さない。

なおも命からがらの冒険を繰り返すピノッキオは、はたして「人間の子どもになりたい」という願いを叶えられるのだろうか……。

監督／共同脚本：マッテオ・ガローネ『ゴモラ』『五日物語 三つの王国と3人の女王』 プロデューサー：ジェレミー・トーマス『戦艦のメリークリスマス』
出演：ロベルト・ベニーニ『ライフ・イズ・ビューティフル』、マリーヌ・ヴァクト『17歳』、フェデリコ・エラビ
後援：イタリア大使館、イタリア文化会館 配給・宣伝：ハビネットファントム・スタジオ copyright 2019 © ARCHIMEDE SRL - LE PACTE SAS

@Pinocchio_2021

11/5(金)公開!

